

日本学術会議・分子研・日本化学会
「教育・研究環境のあるべき姿」分子研研究会

共催 日本学術会議化学委員会、分子科学研究所、日本化学会将来構想委員会

日時 平成20年5月7日(水)13:00-18:25(懇親会 18:30-20:00)

場所 岡崎コンファレンスセンター 会議室 (自然科学研究機構)

参加申込締切 (無料、先着順80名、4月24日(木))

趣旨 大学院教育戦略・国際化、学術動向・設備、科学政策・評価について各界の意見を基に多角的統括的に討議する。

<プログラム>

13:00 挨拶 中村 宏樹
趣旨説明 岩澤 康裕

「課題1 大学院教育の国際化、戦略性、施策」

- 13:05-13:25 野依 良治 (理化学研究所 理事長)
「大学院教育の国際化にむけて」
- 13:25-13:45 大竹 暁 (文部科学省研究振興局基礎基盤研究課長)
「国際競争の中の日本- 主として研究の側面から」
- 13:45-14:05 西本 清一 (京都大学 副学長)
「グローバルリーダーシップ大学院工学教育の取組」
- 14:05-14:20 巽 和行 (名古屋大学 教授)
「日独共同大学院プログラム - 大学院教育国際化の取組み」
- 14:20-14:35 本田 成親 (ジャーナリスト)
「世界頭脳争奪戦の現況とその戦略について」

「課題2 化学の学術動向と研究設備」

- 14:35-14:50 小池 康博 (慶応大学 教授)
「フォトニクスポリマーの研究を展開するにあたって」
- 14:50-15:05 西 信之 (分子科学研究所 教授)
「化学系研究設備有効活用ネットワークの現状について」
- 15:05-15:20 小倉 克之 (千葉大学 教授)
「化学の研究展開と研究設備 -千葉大学の現状を中心に-」

コーヒープレイク 15:20-15:40

「課題3 科学政策と評価」

- 15:40-16:00 相澤 益男 (総合科学技術会議議員)
「科学技術政策のグローバル化」
- 16:00-16:20 岩瀬 公一 (文科省 科学技術・学術政策局総括官)
「政策のねらいと評価」
- 16:20-16:40 北澤 宏一 (科学技術振興機構 理事長)
「科学技術研究環境の変化について」
- 16:40-17:00 有本 建男 (JST 社会技術研究開発センター長)
「グローバル・イノベーション・エコシステム」

課題 1 - 3 の自由討論 (参加者全員) 17 : 05-18 : 25

懇談会 18 : 30-20 : 00

世話人 理化学研究所理事長 野依良治
分子科学研究所所長 中村宏樹
日本学術会議化学委員会委員長 岩澤康裕

連絡先 岩澤康裕 (東京大学大学院理学系研究科)
E-mail: iwasawa@chem.s.u-tokyo.ac.jp

申込先 中垣静花 (自然科学研究機構)
E-mail: nakagaki@ims.ac.jp
希望者には旅費支給致します。